



## CTF 松阪の現状と課題について発表 難病患者のコミュニケーション支援セミナーで

8月29日(日)三重大学看護学科棟3階第三講義室において、三重県難病医療連絡協議会主催の難病患者のコミュニケーション支援セミナーが開催されました。

このセミナーは、難病患者のコミュニケーション支援ネットワークの構築をはかるため、多職種(医療関係者、行政、患者会、NPOなど)の関係者約100名が参加して開催されたもので、地元NPOの立場でCTF松阪から岩崎副会長はじめ3名が参加し、CTF松阪の現状と課題について岡野事務局長が発表しました。

ほかには、透明文字盤や口文字による会話のコツ、自動吸引機の開発経過と今後の期待、コミュニケーション機器の導入と継続利用支援、札幌チャレンジドの意思伝達支援活動など各地からの発表と意見交換がありました。



(写真は発表する岡野事務局長)



## てんぷら食ってホイアンへ行こう

食欲の秋です。てんぷら「こうらく」まずは「てんぷら御前」1550円を食し、近くのお寺「来迎寺」に行くと角屋一族の墓所があります。国内有数の廻船問屋であった角屋家は、天正16年(1588)に蒲生氏郷の松坂城築城とともにその本拠地を伊勢大湊より松坂の湊町に移しています。角屋七郎兵衛栄吉は慶長15年(1610)3月17日に松坂に生まれ、寛永8年(1631)21歳の時、安南国交趾(ベトナム)に渡りホイアンの有力な商人として活躍しました。間もなく七郎兵衛は鎖国令によりホイアンにとどまることになり、日本に帰ることはありませんでした。

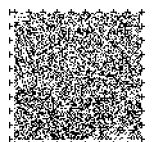
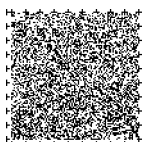
角屋七郎兵衛生誕400年記念企画展を四五百の森「歴史民俗資料館」にて10月17日まで開催中です。ぜひ歴史にてホイアンの七郎兵衛に思いを馳せてください。

<http://www.ko-raku.com/> (こうらく) 毎月10日はてんぷらの日

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/bunka/shisetsu/rekimin/rekimin.html> (歴史)

キーワードは 角屋家・本能寺の変・家康・朱印状・家康の死因・てんぷら

WH



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



### データの「型」でプログラムの動作が変わる

前回の例のようにあからさまな例であればすぐに異常に気づくかもしれませんが。しかし変数の値はプログラムの実行が進むにつれて書き換わっていくことがよくあります。プログラムの中の特定個所で変数になにが入っているかは実際に実行してみないとわからないことも多いのです。

気軽なプログラムであれば動かしてみて間違いに気付いたときに直せばいいのですが、例えばお金の計算でこのようなトラブルがあったら大変です。そのような用途では、面倒に見えてもデータの型が決まっている言語を使うほうがはるかに信頼性の高いプログラムを書くことができます。

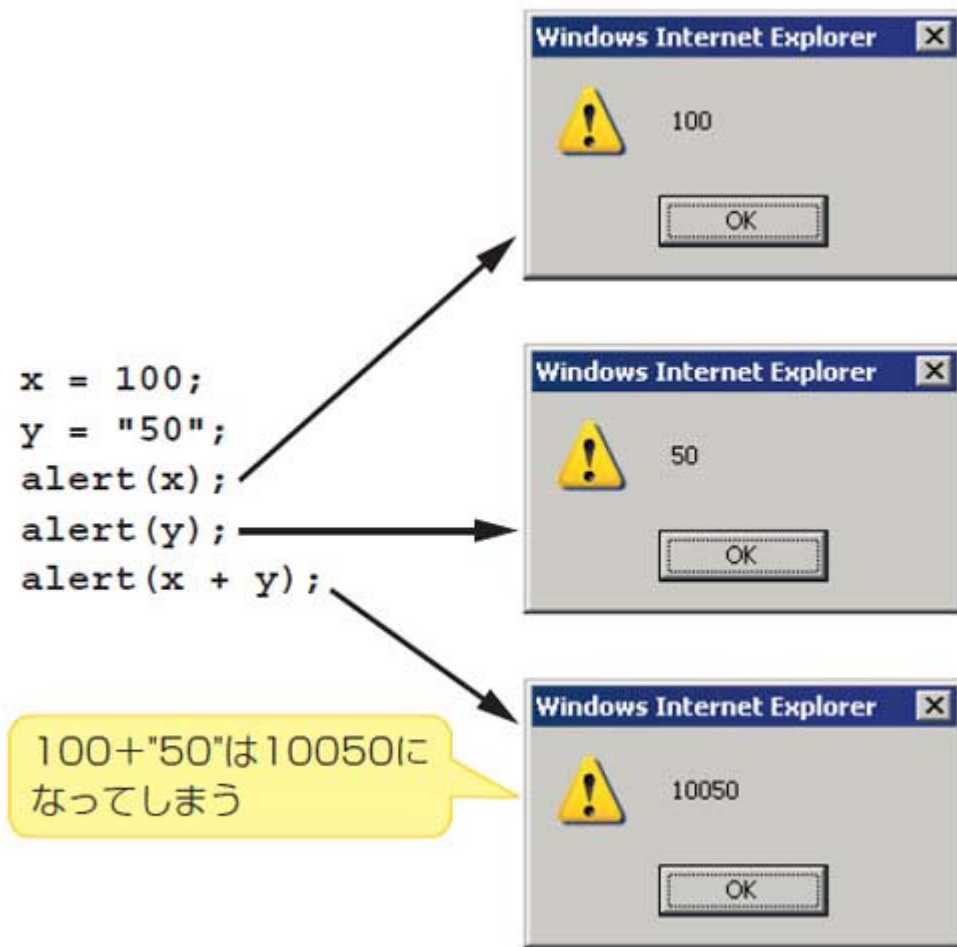
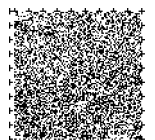


図 1 2 100 と`"50"`を足した答えが 10050 になる

JavaScript のように「良きに計らってくれる」プログラム言語であっても、プログラムを書くときには処理しているデータの型を常に意識することと、内部でそのような仕組みが働いていることを知っておく必要があります。

つづく



## 活動報告

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座  
(7日、14日、21日、28日)

障がい者対象夏季パソコン講座  
(6日、13日、27日)

訪問ITサポート  
(1日、8日、15日、29日)

## 活動予定

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座  
5日、12日、19日、26日  
各9:30~11:30  
松阪市障害者福祉センターにて

サポート従事者スキルアップ講座  
4日、18日、25日  
各9:30~11:30  
松阪市障害者福祉センターにて

### はじめてのブログづくり 障がい者の方のための夏季パソコン講座

9月の講座は「ブログづくり」でした。

ホームページよりも簡単に自己表現ができるアイテム「ブログ」。

メールアドレスを取るところからはじまり、ブログサービスの利用登録、記事の投稿から写真の貼り付け、コメントのやりとりまで、CTF 松阪のスタッフによる指導とサポートにより、受講者の皆さんそれぞれに個性豊かなブログを開設することができました。

## 松阪食べある記

### 味彩 とよまる

今月は市内春日町の県道756松阪環状線(通称近鉄道路)沿い、積木内科医院のそばにある「味彩とよまる」をご紹介します。

伊勢湾と、熊野灘で獲れた天然物の魚介類が提供されます。料理は単品メニューの他おまかせコース料理など、お手ごろ価格で和食料理をあじわうことができます。

竹籠弁当(ランチタイムのみ)は大好評で、売り切れとなることもあるそうです。

右の写真は、竹籠弁当 1,050円

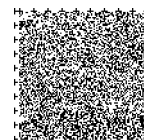
所在地：松阪市春日町 3-176-9

電話：0598-26-1232

営業時間：11:30~14:00 (LO=13:30)

17:00~22:00 (LO=21:30)

定休日：毎週日曜日、第4月曜日





今月は、北勢地域でまちづくりの仕事をしているH. H様からご投稿いただきました。

89

## 人生は各駅鈍行列車

H. H

早いもので三重県に住むようになって、今年で14年目になります。正直、こんなに長く居るつもりはありませんでした（笑）。元々わたしは、山口県徳山市（現周南市）の出身です。地元の高校を卒業後、大学進学の関係で松阪市へ引っ越して来ました。大学入学当初は慣れない独り暮らしや環境の変化などで、ひどいホームシックにかかり大学や地域にもなかなか馴染めませんでした。大学を辞めるべきか、続けるべきか毎日悩みながら、時間だけは無常に過ぎていきました。そして、入学3年目の夏、突如わたしはオンボロ自転車で日本一周の旅に出発しました。もちろん途中で挫折したら、大学も辞めよう決めていました。「何もやらないより、やって後悔しよう。」と心に誓い、毎日、猛暑の中を朝から晩まで無心になって、自転車のペダルを漕ぎ続けました。普段は青白いわたしの顔も真っ黒に日焼けして、体の節々を痛めながらも鈍行列車のようなスピードで進んでいきました。途中、車の排気ガスの関係で声が出なくなりながらも、東北、北海道、北陸、四国、九州、関西を回り、3か月以上過ぎて松阪に戻って来ました。同時に大学にも復学して、これまでの遅れを取り戻すかのように、様々なことに貪欲にチャレンジしていきました。

ところで現在のわたしですが、相変わらず山あり谷ありの日々を送っていますが、そんな私の最近の口癖は「人生、各駅鈍行列車。一駅ずつ前に進めばよい。」意識すれば、「一步前進、二歩後退」といったところでしょうか（汗）。



### 編集後記

暑かった今年の夏も終わり、ヤット秋らしさを感じられるようになりましたが、今年は彼岸花が咲くのが遅いみたいです。

本当の秋が来るのはもう少し後でしょうか？ 夏の疲れが出ないよに皆さん気をつけてください。



## CTF 通信第 91 号

2010年（平成22年）10月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

